

**【協働実践助成】**



# 仙台市内の産前産後子育て支援のための プラットフォーム構築事業

一般社団法人子育てプラットフォームMaRU  
はっぴーすまいるまま

# 1. 事業実施団体について

## 一般社団法人 子育てプラットフォームMaRU

### <団体の目的>

子育て支援に携わる女性3人を中心に2021年12月に設立。

宮城仙台の子育て世帯の孤立、孤育てを減らし、地域資源への「つながり」による支援を考え、「子育て世帯」「子育て支援者」「地域企業」をつなぐプラットフォームとなれるよう事業を展開。

### <これまでの取り組み>

子育ての居場所づくり「サードプレイス」の運営、子育て支援講座、イベントの企画運営、子育て情報誌発行、マタニティBOX制作、インストラクター養成など

## はっぴーすまいるま

### <団体の目的>

2009年発足。仙台市子育て支援活動団体に登録。17年に渡り、宮城県内で親子のふれあいを伝えるサロンを独自開催する他、県内の幼稚園保育園、子育て支援施設での講師活動、母親への育児相談を行い、2000人以上の親子へ「親子のふれあい」の必要性、楽しさを伝える。2023年より活動を再開。

### <これまでの取り組み>

親子ふれあいサロン、子育て支援事業への講師活動、母親への育児相談など

## 2. 令和5年度の実施内容

### (1) 課題

#### 「孤独で孤立した子育て」

仙台市内には核家族世帯が多くおり、母親の多くが「孤独で孤立した子育て」を感じている。

#### 「コロナ禍とSNS社会で生まれた課題」

現代社会では地域とのつながりが希薄なことに加え、現在乳幼児期の子育てをしている親は、ライフスタイルの変化、オンライン化の増加、SNS上の情報過多により、情報に左右されたり、仙台での生活に合った子育て情報を得ることが難しくなるなど、近年のコロナ禍とSNS社会で生まれた課題も浮き彫りになっている。

#### 「人との関わり」「コミュニティ」を求める声

人との関わりやコミュニティの減少は、母親の不安、孤独、子育てへの自主性の低下、子どもの発達（身体・言葉）の遅れ、など、もたらす課題は多い。一方で、父親母親ともに、人との関わりたい、誰かと話したい、集まれる場所が欲しい、という声は年々多く上がっている。

#### 「産前からの一貫型循環型の子育て支援」の必要性

産後からでは居場所を見つけづらい上に、産後は、産後鬱等を起こしやすいため、妊娠期からの情報提供、居場所づくりを行いたい。

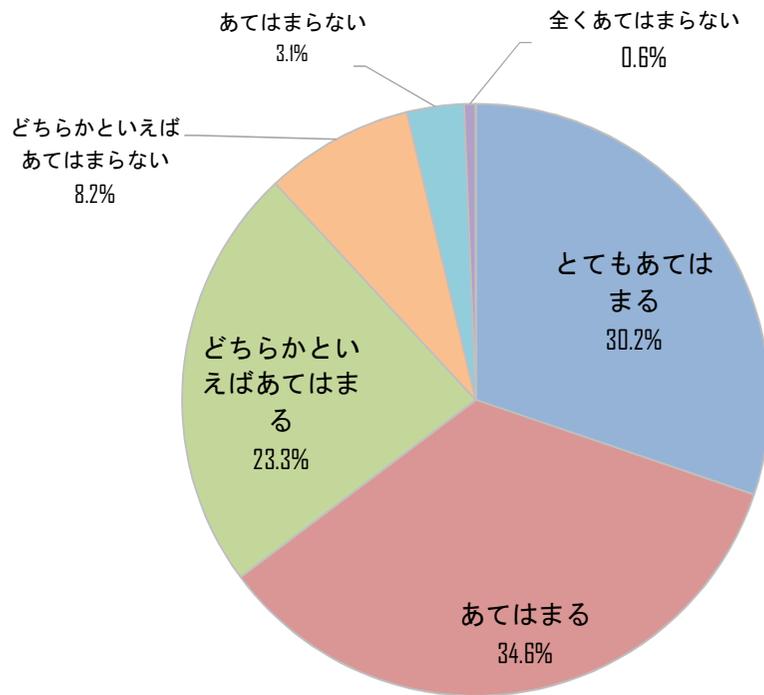
## 2. 申請事業内容

### (1) 課題の把握

#### 家・職場以外の コミュニティの必要性

家、職場以外のコミュニティが欲しいと思っていますか？

(n=159)



2023年7月開催の「まあるくつながる子育てフェスティバル」時のアンケート結果より  
女性73.6%(117人)、男性26.4%(42人)計159人の回答

回答年齢は、30代72.3%、40代(13.8%)、20代(10.1%)の順となっている

Q27	家、職場以外のコミュニティが欲しいと思っていますか？	N	%
1	とてもあてはまる	48	30.2
2	あてはまる	55	34.6
3	どちらかといえばあてはまる	37	23.3
4	どちらかといえばあてはまらない	13	8.2
5	あてはまらない	5	3.1
6	全くあてはまらない	1	0.6
7	未回答	0	0.0
	全体	159	100.0

- 「家、職場以外のコミュニティが欲しいと思っていますか？」の設問に対し、「あてはまる」の回答が34.6%と最も多く、次いで「とてもあてはまる」(30.2%)、「どちらかといえばあてはまる」(23.3%)の順であった。

## 2. 令和5年度の実施内容

### (2)事業の目的

#### 【最終的に目指す姿】

産前産後一貫型のコミュニティづくりの仕組みを構築し  
地域に暮らす子育て世帯自身が子育て支援者の役割を担い  
循環したコミュニティづくりを形成、循環型の子育て支援を行う

#### 【令和5年度事業の実施により目指す姿】

産前からの親子の居場所づくりを提供  
ヒヤリングやアンケート調査を実施し、現状、課題を追及  
「お互いが知る」産前からの「子育てフェスティバル」を開催する

## 2. 令和5年度の実施内容

### (3) 令和5年度事業の目標

#### 産前 マタニティクラス開催

【会場】 親と子のサードプレイスぽぼらす  
【年間参加人数】 5～8名×6か月＝30～48名（50名程度）

#### 産前 マタニティBOX制作

【配布場所】 親と子のサードプレイスぽぼらす  
【配布個数】 100人分 産後の母親と共に制作、配布

#### 産後 はっぴーすまいるまま おやこふれあいサロン開催

【会場】 仙台市内各所  
【年間参加人数】 15組×6回＝90組（親子180名程度）

#### 産後 コミュニティづくり（子育て支援者講座等）

【会場】 親と子のサードプレイスぽぼらす、出前会場 等  
【年間参加人数】 10組×12か月＝120組（親子240名程度）

#### 産前産後 子育てフェスティバル開催

【会場】 仙台市内 【参加者】 500名  
【協賛者】 企業10社、ママ出店10名、支援講演4名

#### 【年間目標数】

利用親子  
**1,000名**  
(妊婦含む)

連携  
子育て支援者  
**10名**

地域企業連携  
**10社**

産後ママ協力  
**10名**

## 2. 令和5年度の実施内容

### (4) 事業の実施体制

#### 一般社団法人 子育てプラットフォームMaRU

- ・マタニティBOXの制作運営
- ・産前産後のコミュニティづくりの企画、運営、開催
- ・地域企業との連携

#### はっぴーすまいるまま

- ・仙台市内各所でのサロン開催
- ・ふれあい遊びの講師活動
- ・コミュニティづくりの運営

## 2. 令和5年度の実施内容

### (5) 事業スケジュールについて

- 4月 年間スケジュール決定と発信
- 5月 マタニティBOX配布開始/サロン開催
- 6月 マタニティBOXプロジェクト実施
- 7月 フェスティバル開催/サロン開催
- 8月 フィードバックの集計、統計まとめ
- 9月 マタニティクラス開催/サロン開催
- 10月 BOXプロジェクト報告会
- 11月 マタニティクラス開催/サロン開催
- 12月 次年度のフェスティバル打ち合わせ
- 1月 マタニティクラス開催/サロン開催
- 2月 マタニティBOX配布状況の確認
- 3月 マタニティクラス開催/サロン開催

### (6) 使用経費について

事業費総額	240万円
収入内訳	
仙台市助成金	150万円
団体自己負担	90万円
支出内訳	
・ 人件費	90万円
・ 講師料旅費	56万円
・ 会場使用料	0,5万円
・ 印刷広報費	9,5万円
・ 消耗品費	49万円
・ その他	3万円
・ 助成対象外経費	32万円

### 3. 令和5年度事業実施状況

#### 令和5年度事業の実施状況について

##### 【審査会でのご意見から】

- ・ 事業実施にあたり関係機関や地域住民へ十分な説明を行い開催
- ・ 年間を通して、感染症対策を十分に行い開催した

##### 【活動実績について】

- ・ マタニティクラスについて年間6回開催し、28名の参加があった
- ・ マタニティボックスを制作配布し年間を通して81名の方にお届けした
- ・ 子育て支援者講座等のコミュニティづくりとして年間を通し111回958名が参加した
- ・ 感染対策を十分に行いフェスティバルを開催。産前産後の子育て世帯のべ450名の方に来場いただいた。
- ・ 課題解決に向けた調査として事前予約310件、当日手書きによるアンケート回答について、調査結果をまとめ報告した。

# 3. 実施した取り組みの紹介

## (1) 子育てフェスティバルの開催

### 産前産後 子育てフェスティバル開催

【会場】 仙台市内 【参加者】 500人  
 【協賛者】 企業10社、 ママ出店10人、 支援講演4

#### 【実施状況】

特別講演（大阪より）  
 7月28日（金）  
 楽天野球団チアリーディングスクール会場

#### 【参加者の声】

「育児に対する考えた方が変わった」  
 「赤ちゃんがたくさんコミュニケーションを  
 として向き合っていきたいと思いました」  
 「子どもや奥さんとの関わり方を  
 より一層考えるきっかけになりました」 など

#### 【最終実施参加者】

宮城県民 44名  
 他県民 5名（青森、山形、東京）  
 子育て支援者 9名（宮城、福島）

参加者数 58名



#### 【実施状況】

まあるくつながる子育てフェスティバル  
 仙台市中小企業活性化センター多目的ホール  
 7月29日（土）10:00～15:00

#### 【参加者の声】

「育児相談が出来たりしてリフレッシュになった」  
 「ブースがたくさんあって子供とともに楽しめた」  
 「SNSでしか繋がっていなかった出展者同士交流ができ、  
 今後につながった」 など

#### 【最終実施参加者数】

子育て支援者 2名  
 産後ママ 1名  
 学生ボラ 6名  
 来場人数 450名  
 協賛企業様 6社  
 ママ出店 23名  
 講演 3名

事前入場予約アンケート 320件  
 来場アンケート 160件

# 3. 実施した取り組みの紹介

## (2) おやこふれあいサロンの開催

### 産後 はっぴーすまいるままおやこふれあいサロン開催

【会場】 仙台市内各所

【年間参加人数】 15組×6回＝90組（親子180人程度）

#### 【参加者の声】

「色々なふれあい遊び、ベビーマッサージができて良かった」

「子どもと一緒に時間を楽しめた。ママ同士お話できる時間があったよ良かった」

「子どもの楽しそうな笑顔がみれて良かった。月齢の近いお友達と触れ合えた」



#### 【最終実施実施状況】

5月31日	宮城野区榴岡	11組
7月29日	青葉区	11組
9月20日	若林区七郷	12組
11月29日	泉区七北田	12組
1月31日	宮城野区高砂	12組
3月27日	太白区富沢	9組

計 67組（親子136人）

## 4 事業の成果と今後の展開

### 事業の成果と今後の展開について

産前からの親子の居場所づくりを提供し、  
ヒヤリングやアンケート調査を実施し、現状、課題を追及  
「お互いが知る」産前からの「子育てフェスティバル」を開催する  
という目標に対し、

産後のコミュニティ作りとして様々な活動を開催することができた。  
また、子育てフェスティバルでは、地域・企業・子育て支援者に加え、学生や産後の父親母親の出展など、循環型の子育て支援の構築に向け、活動することができた。

一方で、妊娠期のコミュニティ作りの充実について課題が残ったほか、父親たちのコミュニティ作り、育休中の過ごし方、共働き世帯の居場所づくりについても新たな課題を感じたため、  
これからの時代のニーズにあった子育て支援のモデルづくり、共働き世帯が子育て・仕事・家事を共に両立できるライフワークバランスの支援等も含め行いたい。

# 5. 令和6年度事業の実施状況

令和6年度事業の実施状況について

## 産前 マタニティクラス開催

5、7、9月開催 35人 11、1、3にも開催予定

## 産後 はッピーすまいるママ およこふれあいサロン開催

5、7、8、9月開催 90人 11、1、3月にも開催予定

## 産後 コミュニティづくり（子育て支援者講座等）

毎月3程度開催 275人

## 産前産後 子育てフェスティバル開催

【会場】 仙台市内 【参加者】 500人

【協賛者】 子育て支援者 5人 企業7社 ママ出店者24人  
講演2人 他 学生ボランティア 5人

### 【年間目標数】

利用親子  
**1,000人**  
(妊婦含む)

連携  
子育て支援者  
**10人**

地域企業連携  
**10社**

産後ママ協力  
**10人**

\* その他、昨年に引き続きマタニティボックスの配布も継続する